

ある日 森の中 クマさんに・・・

代かき中の田んぼの畦で。

惣吉：今日は暖かいなや。

寅次：ほだなあ。

惣吉：シロキ*が採れたんだきっと、もっでぐけ？

寅次：だーいぶかせいだなや。

惣吉：シマがあんだ。

寅次：今度おせろや**。だきっと、こーんなに持ってきちまったら、クマめに怒らんねけ？

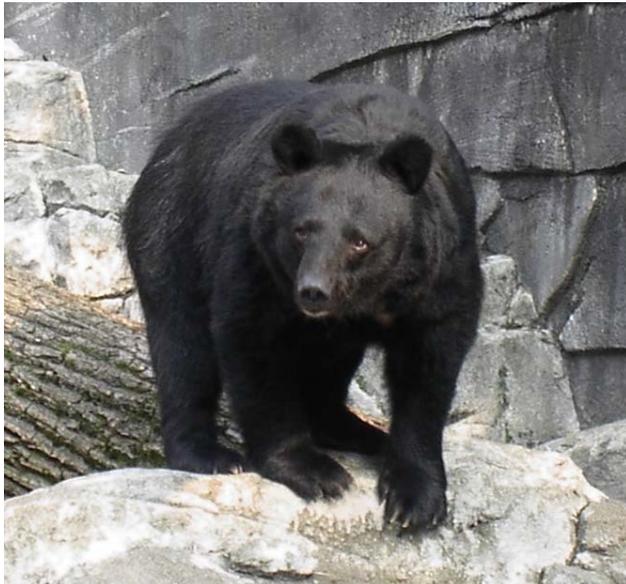
惣吉：食うもん無くなっちったかもしんねな。

*シロキ：コシアブラの芽 **おせろや：教えてくれよ

鳥
獣
新
聞

第9号
春の香 山菜号

春はクマも動いています



春先、山菜を求めて多くの人が山に入ります。また、新緑やツツジなど見るため、ハイキングする機会も増えてきます。

この時期はクマも冬眠から目覚めており、餌を求めて歩き回っていますので、山の中でばったり出会ってしまう可能性があります。

しかし、クマは本来臆病な動物です。

人間側の注意で、不幸な出会いの多くは回避できます。



クマに出会わないために

自分の存在を知らせる

鈴などで人間の存在を知らせることで、クマの方が避けてくれます。ただし、沢浴いでは水音にかき消されてしまう場合があるので、注意が必要です。

アウトドアショップなどでは、大きな音の鳴るクマよけ用の鈴が売られているので、利用するとよいでしょう。



クマよけ専用スズ

夕方や早朝に出歩かない

夕方や早朝は、クマの行動が最も活発になります。この時間帯に山に入る場合は、特に注意が必要です。



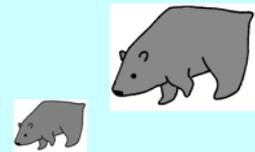
単独行動はやめる

複数で行動することは、自分たちの存在をクマに知らせる上でも、あるいはクマの存在に早めに気付くためにも有効です。



小熊を見ても近づかない

付近に必ず親熊がいます。小熊を守るために攻撃してくることがありますので、決して近づかないようにしてください。



危険なクマをつくらない

残飯やゴミを山に放置することは、クマに人間の食物の味を覚えさせ、人に寄ってくる危険なクマをつくることにつながります。ゴミを捨てたり埋めたりすることは、絶対にやめてください。



発行：鳥獣新聞編集部（栃木県自然環境課内）

TEL028-623-3261 FAX028-623-3212

ご意見、ご要望、情報などお待ちしております。

無断転写、複製、転送、公開、掲示、配布など大歓迎！

